

プラチナサロン (8月12日)「NPO法人アルプス善意通訳協会について」「木造建築の木について」

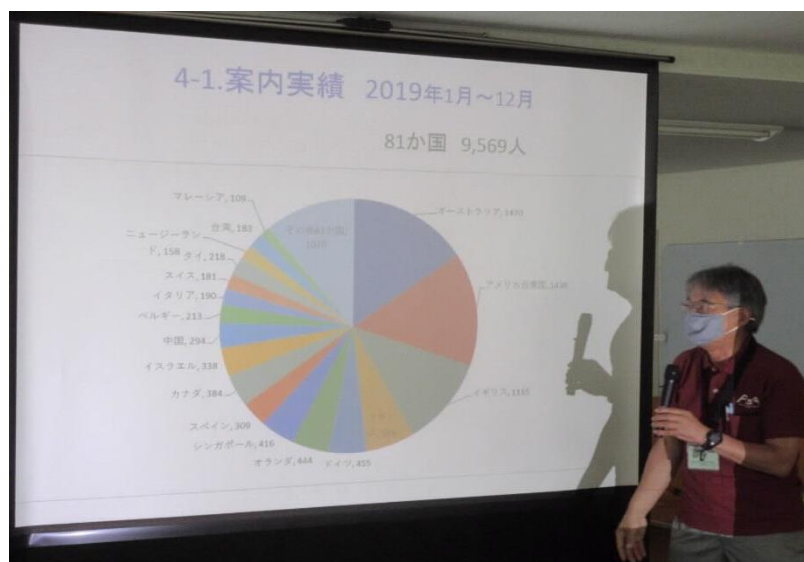
講師：高山洋 (NPO法人アルプス善意通訳協会/プラチナサポーターズ松本)

今回は市民活動サポートセンターの登録団体であり、松本城に訪れる外国人観光客の通訳ボランティアとして活動しているNPO法人アルプス善意通訳協会の活動を高山さんから紹介していただきました。

長野冬季オリンピック (1998年) のための通訳強化トレーニングセミナー受講者が中心となり通訳ガイドを提供する活動を23年前から行っているそうです。

英語を中心にフランス語・スペイン語・ポルトガル語・中国語の通訳を提供。コロナの影響で2020年2月から活動を休止していますが、出来る日が来たらお城について「良い説明」できるカリスマガイドを目指して日々スキルアップしているとのことでした。後半はお城で聞かれることが多い木造建築についての説明がありました。

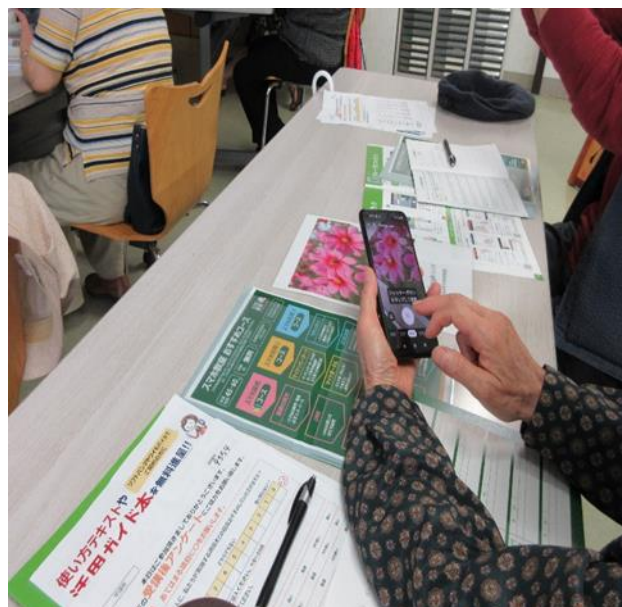
日本のお城が人気なのは、「木造」だから。西洋の文化とは違い、木は日本の文化、木について関心を持ってほしいとのことでした。



プラチナサロン (7月8日)「シニアのためのスマホ教室」

講師：スマホ専門アドバイザー 鳥羽さん、土屋さん、唐木さん

一人1台アンドロイド端末を使い、スマートフォンの便利な機能や地図の扱い方、写真の撮り方などを学びました。1時間は講義、30分は質疑応答の時間を設けました。たくさん触れることが上達のコツとのことでした。参加者たちは端末に向かって声をかけ（音声検索）天気やアラーム画面に反映していることに驚いている様子でした。見たものをかざして検索する方法を聞き大変便利な機能だと感心する方もいました。今回は女性の参加者がやや多く、連絡ツールは皆ラインやメールを使うのだと感じました。



プラチナサロン (6月10日)「チンチン電車沿線の歴史散歩」⑤南郷地区II「南浅間～元町～横田～曙町」

講師：白井光裕 (プラチナサポーターズ松本)

梅雨入前の暑い日、旧路面電車浅間線 (チンチン電車) 沿線を歩きながら周辺にある数々の歴史事績を巡りました。(横田池跡、横田神社、国司塚、松風跡など)

後半は、信州大学医学部キャンパス内にあり国の登録有形文化財になっている「通称赤レンガ倉庫」(現在は医学部資料室として使用)の外観を見学しました。

松本に駐屯していた旧松本歩兵第五十連隊の糧秣庫(りょうまつこ・食料保管庫)として明治41年に建てられました。歴史ある建物に時代を感じました。



プラチナサロン (5月13日)「ウォーキングサッカーin かりがね」

講師：(株) 松本山雅コミュニティ 久保 翔さん、今井昌太さん (元選手)

今回も午前中までとし、かりがねサッカー場にある多目的広場で開催しました。ウォーキングサッカーとは「走らない」「ボディコンタクトなし」が基本ルールのイングランドで誕生した「歩く」サッカーです。

最初は2人一組でタオルを使ったストレッチを行った後、4人編成3チームに分かれて柔らかいボールでボーリングピンを倒すゲームを行いました。後半は6人編成男女混合2チームに分かれて試合を行いました。

試合中は走ってしまう方も多かったですが、慣れてくると走らなくなりました。アシストバスから見事なゴールも決まり、チーム一人一人の距離も縮まり楽しい雰囲気で行うことができました。



プラチナサロン（4月8日）「バードウォッチング&山菜講座 in アルプス公園」

講師：上條恒嗣（前）信州野鳥の会会長（プラチナサポーターズ松本）

今回も屋外でプラチナサロンを開催いたしました。

野鳥観察を中心に園内に生えている山菜について学びました。野鳥図鑑や山菜図鑑を持参した参加者たちは、鳴いている鳥の行方を双眼鏡で見て楽しんでいる様子でした。

アルプス公園内で確認とれた鳥は、シジュウカラ・メジロ・ウグイスです。お目当てのオオルリが飛んでいなかったことは残念でした。

生えている山菜は毒のあるもの以外は全て食べられるとのこと。調理をするなら天ぷらやみそ汁の具にして食べるのが美味しいそうです。

曇り日だったので少々寒かったですが、2時間たっぷり歩き良い運動になりました。

